

貸借対照表

(2024年3月31日現在)

(資 産 の 部)	百万円	(負 債 の 部)	百万円
流 動 資 産	177,126	流 動 負 債	124,870
現金及び預金	96,507	買掛金	10,505
受取手形	230	関係会社短期借入金	80,000
売掛金	46,010	未払金	11,539
有価証券	238	未払費用	3,668
商品及び製品	16,472	未払法人税等	5,956
仕掛品	1,494	返金負債	6,297
原材料及び貯蔵品	10,929	契約負債	100
前払費用	740	預り金	1,011
その他	4,509	賞与引当金	1,939
貸倒引当金	△ 6	その他	3,851
固 定 資 産	382,295	固 定 負 債	21,850
有 形 固 定 資 産	86,062	長期未払金	2,032
建築物	53,310	契約負債	75
構築物	1,365	退職給付引当金	12,554
機械装置	2,007	役員退職慰労引当金	636
車両運搬具	44	資産除去債務	3,940
工具器具備品	2,650	その他	2,612
土地	26,607	負 債 合 計	146,721
建設仮勘定	77		
無 形 固 定 資 産	46,488	(純 資 産 の 部)	
販売権	37,824	株 主 資 本	412,509
ソフトウェア	8,604	資本金	29,837
その他	59	資本剰余金	14,968
投資その他の資産	249,745	資本準備金	14,968
投資有価証券	3,277	利益剰余金	367,702
関係会社株式	224,540	利益準備金	7,451
関係会社出資金	1,912	その他利益剰余金	360,251
長期前払費用	1,419	固定資産圧縮積立金	2,996
前払年金費用	8,689	その他任意積立金	287
繰延税金資産	9,182	繰越利益剰余金	356,967
その他	951	評 価 ・ 換 算 差 額 等	192
貸倒引当金	△ 227	その他有価証券評価差額金	192
資 産 合 計	559,422	純 資 産 合 計	412,701
		負 債 純 資 産 合 計	559,422

損 益 計 算 書

(2023年4月1日から
2024年3月31日まで)

		百万円
売	上	186,841
売	上 原 価	66,255
売	上 総 利 益	120,586
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費		106,124
営 業 利 益		14,461
営 業 外 収 益		5,612
受 取 利 息		99
受 取 配 当 金		4,406
為 替 差 益		108
雑 収 入		997
営 業 外 費 用		1,178
支 払 利 息		802
雑 損 失		375
経 常 利 益		18,896
特 別 利 益		3,024
固 定 資 産 売 却 益		2,441
新 株 予 約 権 戻 入 益		583
特 別 損 失		6,657
固 定 資 産 処 分 損		9
投 資 有 価 証 券 評 価 損		791
減 損 損 失		841
早 期 退 職 費 用		5,015
税 引 前 当 期 純 利 益		15,262
法 人 税、住 民 税 及 び 事 業 税		6,399
法 人 税 等 調 整 額		△ 2,237
当 期 純 利 益		11,100

株主資本等変動計算書

(2023年4月1日から
2024年3月31日まで)

(単位：百万円)

	株 主 資 本								
	資 本 金	資 本 剰 余 金		利 益 剰 余 金	利 益 剰 余 金			株主資本 合 計	
		資本準備金	資本剰余金 合 計		そ の 他 利 益 剰 余 金				利益剰余金 合 計
					固定資産 圧縮積立金	そ の 他 任意積立金	繰越利益剰余金		
2023年4月1日 期首残高	29,837	14,968	14,968	7,451	3,171	225	351,463	362,310	407,117
事業年度中の変動額									
剰余金の配当							△5,708	△5,708	△5,708
固定資産圧縮積立金の取崩					△174		174	-	-
その他任意積立金の積立						62	△62	-	-
当期純利益							11,100	11,100	11,100
株主資本以外の項目の 事業年度中の変動額(純額)									
事業年度中の変動額合計	-	-	-	-	△174	62	5,504	5,392	5,392
2024年3月31日 期末残高	29,837	14,968	14,968	7,451	2,996	287	356,967	367,702	412,509

	評価・換算差額等		純資産合計
	その他 有価証券 評価差額金	評価・換算 差額等合計	
2023年4月1日 期首残高	65	65	407,182
事業年度中の変動額			
剰余金の配当			△5,708
固定資産圧縮積立金の取崩			-
その他任意積立金の積立			-
当期純利益			11,100
株主資本以外の項目の 事業年度中の変動額(純額)	126	126	126
事業年度中の変動額合計	126	126	5,518
2024年3月31日 期末残高	192	192	412,701

個別注記表

1. 重要な会計方針に係る事項に関する注記

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

- ① 子会社株式及び関連会社株式 移動平均法による原価法
- ② その他有価証券
 - 市場価格のない株式等以外のもの 時価法(評価差額は全部純資産直入法により処理し、売却原価は移動平均法により算定)
 - 市場価格のない株式等 主として移動平均法による原価法
 - 投資事業有限責任組合及びそれに類する組合への出資(金融商品取引法第2条第2項により有価証券とみなされるもの) 組合契約に規定される決算報告日に応じて入手可能な最近の決算書を基礎とし、持分相当額を純額で取り込む方法によりしております。

(2) デリバティブ等の評価基準及び評価方法

時価法

(3) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

- ① 製品、商品、仕掛品 総平均法による原価法(貸借対照表価額は収益性の低下に基づく簿価切下げの方法により算定)
- ② 原材料 移動平均法による原価法(貸借対照表価額は収益性の低下に基づく簿価切下げの方法により算定)
- ③ 貯蔵品 最終仕入原価法
ただし、販促物品については移動平均法による原価法(貸借対照表価額は収益性の低下に基づく簿価切下げの方法により算定)

(4) 固定資産の減価償却の方法

- ① 有形固定資産 定率法を採用しております。ただし、1998年4月1日以降に取得した建物(建物附属設備を除く)ならびに2016年4月1日以降に取得した建物附属設備及び構築物については、定額法を採用しております。
なお、耐用年数については経済的耐用年数に基づいております。
- ② 無形固定資産 定額法を採用しております。販売権及び商標権は、経済的耐用年数(5年~20年)に基づいて償却しております。自社利用ソフトウェアについては、社内における利用可能期間(5年~10年)に基づいて償却しております。

(5) 外貨建の資産又は負債の本邦通貨への換算基準

外貨建金銭債権債務は、期末日の直物為替相場により円貨に換算し、換算差額は損益として処理しております。

(6) 引当金の計上基準

① 貸倒引当金

売上債権等の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を勘案し、回収不能見込額を計上しております。

② 賞与引当金

従業員に対して支給する賞与の支出に充てるため、支給見込額のうち当事業年度の負担額を計上しております。

③ 退職給付引当金

従業員の退職給付に備えるため、当事業年度の末日における退職給付債務及び年金資産の見込額に基づき計上しております。

過去勤務費用は、その発生時の従業員の平均残存勤務期間以内の一定の年数による定額法により費用処理しております。数理計算上の差異は、各事業年度の発生時における従業員の平均残存勤務期間以内の一定の年数による定額法により按分した額をそれぞれ発生翌事業年度から費用処理しております。

④ 役員退職慰労引当金

役員及び執行役員等の退職慰労金の支出に備えるため、内規に基づく期末要支給額を計上しております。

(7) リース取引の処理方法

所有権移転外ファイナンス・リース取引については、通常の売買処理に係る方法に準じた会計処理によっております。

(8) 収益及び費用の計上基準

(イ) 製商品の販売

製商品の販売は、製商品を顧客に引き渡した時点で、顧客に製商品の法的所有権、物理的占有、製商品の所有に伴う重大なリスク及び経済価値が移転し、顧客が当該製商品に対する支配を獲得することから、履行義務が充足されると判断しており、当該製商品の着荷時点で売上収益を認識しております。

製商品は、販売数量や販売金額等の一定の目標の達成を条件としたリベート等を付けて販売される場合、また、顧客に返品権を付して販売する場合があります。その場合の取引価格は、顧客との契約において約束された対価からリベート及び返品等の見積りを控除した金額で算定しております。リベート及び返品等の見積りは過去の実績等に基づく最頻値法を用いており、売上収益は重大な戻入れが生じない可能性が非常に高い範囲でのみ認識しております。

製商品の販売に係る対価は、顧客へ製商品を引き渡した時点から主として1年以内に受領しております。なお、重大な金融要素は含んでおりません。

(ロ) ライセンス収入及びロイヤルティ収入

ライセンス収入は、当社が第三者との間で締結した開発品又は製品の開発・販売権等に関するライセンス契約等に基づいて受領した契約一時金、マイルストーンによる収入であります。

ライセンス契約等において、履行義務が一時点で充足される場合には、開発権・販売権等を付与した時点で契約一時金を売上収益として認識し、契約上定められたマイルストーンが達成された時点でマイルストーンによる収入を売上収益として認識しております。履行義務が一定期間にわたり充足される場合には、当該対価を契約負債として計上し、個々の契約ごとに決定した開発協力等の履行義務の充足に関する進捗度の測定方法に従い、契約一時金、マイルストーンによる収入を予想される契約期間等の一定期間にわたり売上収益として認識しております。なお、マイルストーンによる収入は、事後に重大な戻入れが生じる可能性を考慮し、契約上定められたマイルストーンが達成された時点から売上収益として認識しております。ロイヤルティ収入は、契約相手先の売上収益等を基礎に算定されたライセンス契約等における対価であり、契約相手先の売上収益等の発生と履行義務の充足のいずれか遅い時点で、売上収益として認識しております。

ライセンス収入及びロイヤルティ収入は、契約に基づく権利の確定時点から、主として1年以内に受領しております。なお、重大な金融要素は含んでおりません。

2. 会計上の見積りに関する注記

会計上の見積りにより当事業年度に係る計算書類にその額を計上した項目であって、翌事業年度に係る計算書類に重要な影響を及ぼす可能性があるものは、次のとおりです。

(1) 固定資産の減損

・当事業年度計上額

有形固定資産合計	86,062百万円
無形固定資産合計	46,488百万円

・その他見積りの内容に関する理解に資する情報

当社では、資産又は資産グループに減損の兆候がある場合には、当該資産又は資産グループから得られる割引前将来キャッシュ・フローの総額と固定資産の帳簿価額を比較し、減損損失を認識するかどうかの判定を行っております。

減損損失を認識すべきであると判断した資産又は資産グループについては、将来キャッシュ・フロー等に基づいて算定した使用価値あるいは正味売却価額まで帳簿価額を減額し、当該減少額を減損損失として計上することとしております。将来キャッシュ・フローの見積りにおいて用いた仮定は現時点の最善の見積りであるものの、将来の不確実な経済状況及び当社の経営状況によっては、将来キャッシュ・フローの見積りに重要な影響が生じる可能性があります。

(2) 投資有価証券及び関係会社株式の評価

・当事業年度計上額

投資有価証券	3,277百万円
関係会社株式	224,540百万円
(うち、UPSA社に係る関係会社株式 147,782百万円)	
関係会社出資金	1,912百万円

・その他見積りの内容に関する理解に資する情報

当社は、将来の成長による超過収益力を見込んで、1株当たりの純資産額を基礎とした金額に比べて相当程度高い価額での企業買収や非上場株式への投資を行うことがあります。当該関係会社株式及び非上場株式の評価に当たっては、当該株式の投資時の超過収益力を反映した実質価額が著しく低下した場合、減損処理を行います。

投資時における超過収益力の減少の有無を判断するため、各関係会社及び非上場企業の投資時の事業計画の達成状況や、将来の成長性に関する見通しを総合的に検討しており、その主要な仮定は、事業計画に含まれる売上高の成長見込み等です。

投資時における超過収益力の減少の有無の判断に用いた仮定は現時点の最善の見積りであるものの、将来の不確実な経済状況によっては、減損損失が発生する可能性があります。

3. 貸借対照表に関する注記

(1) 有形固定資産の減価償却累計額 195,351百万円

減価償却累計額には、減損損失累計額が含まれております。

(2) 保証債務

関係会社の金融機関からの借入金に対して次のとおり債務保証を行っております。

大正エム・ティ・シー(株)(子会社)	300百万円
合計	300百万円

(3) 関係会社に対する金銭債権債務

区分表示されたもの以外で、当該関係会社に対する金銭債権又は金銭債務の金額は、次のとおりであります。

① 短期金銭債権	2,572百万円
② 長期金銭債権	6百万円
③ 短期金銭債務	4,721百万円
④ 長期金銭債務	802百万円

4. 損益計算書に関する注記

関係会社との取引高

① 売上高	6,134百万円
② 仕入高	4,720百万円
③ 販売費及び一般管理費	4,106百万円
④ 営業取引以外の取引高(収入分)	4,952百万円
⑤ 営業取引以外の取引高(支出分)	802百万円

5. 株主資本等変動計算書に関する注記

(1) 発行済株式の種類及び総数に関する事項

株式の種類	当事業年度 期首の株式数	当事業年度 増加株式数	当事業年度 減少株式数	当事業年度末 の株式数
普通株式	300,465千株	—	—	300,465千株

(2) 配当に関する事項

① 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日
2023年6月29日 定時株主総会	普通株式	5,708	19.00	2023年3月31日	2023年6月30日

- ② 基準日が当事業年度に属する配当のうち、配当の効力発生日が翌事業年度となるもの該当事項はありません。

6. 税効果会計に関する注記

繰延税金資産の発生主な原因は、退職給付引当金、支払研究費等及び売上控除否認等であり、繰延税金負債の発生主な原因は、前払年金費用及び固定資産圧縮積立金等であります。

7. 金融商品に関する注記

(1) 金融商品の状況に関する事項

① 金融商品に対する取組方針

当社は、資金運用については資金管理要綱に基づき短期的な預金及び安全性の高い金融資産に限定しております。また、デリバティブ取引については、投機的な取引は行わない方針です。

② 金融商品の内容及びそのリスクならびにリスク管理体制

営業債権である受取手形及び売掛金は、顧客の信用リスクに晒されており、当該リスクに関しては、与信管理規程に沿って残高管理を行いリスクの低減を図っております。

有価証券及び投資有価証券は、社債及び非上場株式であります。発行体の信用リスクに晒されておりますが、定期的に発行体の財務状況等を把握しております。

金銭債務である買掛金及び未払金は、そのほとんどが1年以内の支払期限となっております。流動性リスクに晒されておりますが、資金繰計画を作成するなどの方法により管理しております。

関係会社短期借入金は、UPSA社の株式取得に係る資金調達であり、資金繰計画を作成するなどの方法により管理しております。

③ 金融商品の時価等に関する事項についての補足説明

金融商品の時価の算定においては変動要因を織り込んでいるため、異なる前提条件等を採用することにより、当該価額が変動することもあります。

(2) 金融商品の時価等に関する事項

2024年3月31日における貸借対照表計上額、時価及びこれらの差額については、次のとおりであります。なお、市場価格のない株式等、次表には含めておりません。（(注)を参照ください。）また、現金は注記を省略しており、預金、受取手形・売掛金、買掛金、未払金及び関係会社短期借入金は短期間で決済されるため時価が帳簿価額に近似することから、注記を省略しております。

(単位：百万円)

	貸借対照表計上額	時価	差額
① 有価証券	238	238	—
② 関係会社株式	32,489	47,357	14,868

(注) 市場価格のない株式等

(単位：百万円)

区分	貸借対照表計上額
非上場株式	2,282
投資事業組合	995
関係会社株式	192,050
関係会社出資金	1,912

8. 関連当事者との取引に関する注記

(単位：百万円)

種類	会社等の名称	議決権等の所有 (被所有)割合	関連当事者 との関係	取引の 内容	取引 金額	科目	期末 残高
親会社	大正製薬 ホールデ ィングス (株)	(被所有) 直接 100.0%	直接の親会社 資金の借入 役員の兼任	資金の 借入 (注1)	—	関係会社 短期 借入金	80,000
				利息の 支払 (注1)	802	その他 流動負債	3,842
子会社	UPSA SAS	直接 100.0%	増資の引受	増資の 引受 (注2)	29,984	—	—

(注) 取引条件及び取引条件の決定方針等

- 借入金の利率については、市場金利を勘案し合理的に決定しております。
- 増資の引受につきましては、子会社が行った増資を債権及び株式の現物出資の方法により全額引き受けております。

9. 収益認識に関する注記

収益を理解するための基礎となる情報

収益を理解するための基礎となる情報は、「【計算書類（個別注記表）】（重要な会計方針に係る事項に関する注記）(8)収益及び費用の計上基準」に記載しています。

10. 1株当たり情報に関する注記

- | | | |
|----------------|--------|-----|
| (1) 1株当たり純資産額 | 1,373円 | 54銭 |
| (2) 1株当たり当期純利益 | 36円 | 95銭 |

11. 重要な後発事象に関する注記

(グループ内資金集約)

当社は、グループ内の資金移動効率化のため、グループ会社を相手とする極度貸付・借入契約を決算日後に締結し、それに基づいた貸付(9,600百万円)と借入(15,000百万円)を実行しております。

(重要な資産の担保提供)

当社は、グループ会社の外部借入に対し、関係会社株式(2024年3月末帳簿価額156,227百万円)や現金及び預金(2024年3月末帳簿価額93,737百万円)等の重要な資産を決算日後に担保提供しております。

12. その他の注記

記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。